

2025年2月20日

勝兵塾 第164回例会

(於・アパ本社 3F 会議室)

「日本の真の独立を目指す有識者会議」(ECAJTI) 創業者・副議長
大阪市立大学名誉教授・経済学博士 山下英次

稲葉延雄 NHK 会長に対する公開書簡

GHQ にレイプされたも同然の NHK

・ GHQ が、当時、内幸町の NHK 放送センターにあった NHK 本部に乗り込み、NHK 職員を1つのフロアに押し込め、CIS/ CCD (検閲部隊) と CIE (洗脳部隊) が上下のフロアに陣取り、いわば挟み撃ちの状態に

・ GHQ による日本国民の洗脳に加担させられた日本メディアの最たるもの=NHK
→ NHK は、国民に対して、率先して、その事実を告白・懺悔する義務があるはず
=NHK だけでなく、すべての既存メディアは国民全体に対して負っている負債を返済せよ

・ NHK 専務理事・放送総局長を経験した春日由三 (かすが・よしかず) * の著書『体験的放送論』(日本放送出版協会、1967年1月)

* = 1911年~1995年、NHK 第1回紅白歌合戦の審査員長

; 演劇部副部長の時代に、『真相はかうだ』を担当させられる (1945-12-09~)

; 『体験的放送論』の一節に、「真相はかうだ」の真相: CIE 監督下の放送」(pp. 267-274) がある

— 「私にとっては一種の罪ほろぼしといったものかもしれないが、ある意味での放送史の隠れた一頁であることは確かである。」

=事実上、この時点で、告白・懺悔している

; 春日氏は、単なる NHK の元・ある一スタッフに非ず

1950年代から1960年代前半にかけて、NHK の制作部門の第一人者だった人物が

であり、そうした中心人物が、終戦直後の演劇部副部長時代に自らが体験した

GHQ 占領時の事実を語ったもの

の

→ NHK が、意に反して『真相はかうだ』を強制的に放送させられたことを証明

するもの

；番組名『真相はかうだ』の原題＝*Now It Can Be Told*（作＝GHQのある中尉）

- ・英語の台本と番組企画はすべて GHQ で、NHK は、声優のキャスティングだけを担当し、あとは GHQ が作った番組をオンエアするだけ
- ；のちの有名女優の加藤道子*も出演

*=のちに NHK 第 1 回紅白歌合戦の総合司会

- ・ GHQ 側の責任者フランク馬場（日系二世）の回想
- ；「番組は、非常に評判が悪く、抗議文がたくさん来た。中には脅迫状めいたものもあった。」
- ・ 評判の悪い『真相はかうだ』は、1946 年 2 月で一応終了
- ；その後、『真相はかうだ 真相箱』、『真相箱』、『質問箱』、『インフォメーション・アワー』など形を変え、後続番組は、占領の終了ごろまで続いた
- 終戦直後は、まだ、洗脳される以前の日本国民は、GHQ 企画の番組に強く抵抗
- しかし、長い間、繰り返されるうちに次第に洗脳が、次第に浸透（＝偽りの歴史の浸透）していったようである

NHK 会長に対する公開書簡の要旨

- ・日本が、いまだに真の独立国ではないのは、多くの国民が戦後の GHQ による洗脳から脱却できていないからである。
- ・それには、メディアが、戦後、GHQ による日本国民に対する洗脳工作に加担させられた事実を告白・懺悔していなかったことが大きい。
- ・NHK は、GHQ の洗脳工作に加担させられた事実を、告白・懺悔せよ。NHK が自分たちを公器と称するのなら、それは、日本国民全体に対する厳粛な義務であるはず。
- ・一回限りの報道では到底不十分であり、毎月、あたかも月命日のように大きな特集番組を組んで大々的に報道せよ。しかも、それを、長年継続させよ。
- ・春日由三氏は、最終的には、専務理事・放送総局長を経験し、第 1 回 NHK 紅白歌合戦の審査員長を務めた人物であり、当時の NHK の大幹部である。
- ・現在の、NHK は、大先輩である春日氏の 58 年前の認識と精神に戻れ！

- ；しかも、春日氏の著書は、実際に体験した人間自らが語った歴史の一次資料（第一級資料）である。
- ・NHK 内部の調整に時間を要することは理解できるので、今年 4/28（月）の主権回復日（SF 講和条約発効日）までに、われわれ有識者会議に返答してもらいたい。
；趣旨＝戦後の GHQ による日本国民に対する洗脳工作に加担させられた事実を告白・懺悔する特集番組を、毎月、長年にわたって継続的に報道せよ !!
 - ・日本のメディアは、これまで、GHQ による日本国民に対する洗脳工作に加担させられた事実について、告白・懺悔してこなかった。
 - ・1950 年から 1960 年代前半にかけて、NHK の大幹部だった春日由三（かすが・よしかず）氏が、NHK 退局後の 1967 年 1 月発行の自著『体験的放送論』（日本放送出版協会＝現・NHK 出版）の中で、事実上、告白・懺悔している。
；「せめてもの罪滅ぼし」（p. 268）
；現在の NHK は、58 年前の大先輩で大幹部だった春日氏（1911～1995 年）の認識と精神に立ち戻れ !!
；NHK は、「われわれは、58 年前の大先輩の認識に立ち戻ることにした」という趣旨で、告白・懺悔番組を始めてはどうか？
＝良いきっかけ（言い訳）になるのではないか？
 - ・一回限りではなく、繰り返し、継続的に何年間も告白・懺悔すべし !!
；月命日のように、毎月繰り返せ !!
；2014 年 8 月 5 日と翌 6 日の 2 日間連続して、朝日新聞は、慰安婦問題に関する誤報を認め、当該記事を取り消す大きな報道を行ったが、本件は、それとは比べ物にならないほど遥かに重要な問題 ∴ 日本の国の独立に関わる問題
 - ・不作為（告白・懺悔しないこと）を続けることによる国民に対する負債が日々膨張することを意味する → メディアは、国民に対する負債を早く返済せよ !!
 - ・GHQ による洗脳を受け継ぎ、それを拡大再生産してきた連中は、歴史学者、学校教師など他にもたくさんいるが、メディアの影響力は非常に大きく、メディアが変われば、日本社会はかなり変わるはず。

メディア全体に対する批判の大合唱を !!

- ・われわれは、なぜ NHK を標的にしたのか？

- ① NHK は、洗脳工作に加担させられた日本のメディアの最たるもの
 - ② NHK は唯一の公共放送
 - ③ NHK が、GHQ の指示によって、嫌々、『真相はかうだ』などの GHQ のプロパガンダ番組を放送させられたことを示す一次資料が存在する（春日由三氏の著書）
- ・ いま、メディアは、国民の間で、知性や見識だけでなく、その倫理観についても重大な疑義が持たれている。
 - ； (例) 2023 年 8 月 4 日、国連人権理事会 SP（「特別手続き」）の「ビジネスと人権」作業部会の議長とアジア太平洋地域担当委員が JNPC での記者会見で、「ジャニーズ事務所の性加害問題」も取り上げる
 - それ以前は、本件を不問に付していた日本のメディアは急に騒ぎ出した
 - ・・・メディアは、こうした行為を恥と思わないのか？
 - ・ 歴史認識以外の多くの分野でも、近年、メディアは国民の信頼を大きく損ねている
 - ； その点も含めて真摯に反省し、信頼性のあるメディアに脱皮せよ !!
 - ・ 今回は、NHK を取り上げたが、他のメディアも、同じように繰り返し告白・懺悔すべし !!
 - ； 新聞の月命日 = 8 日
 - ← 『太平洋戦争史』の新聞 5 紙への全編連載の開始 = 1945-12-08（真珠湾の日）
 - ・ 今回のわれわれの一連の行動をきっかけに、近年におけるメディアの腐敗ぶりを背景に、国民の間で広く「メディア批判の大合唱」が起こることを期待したい。
- * 「日本の真の独立を目指す有識者会議」（ECAJTI）は、先月から会員制に移行し、現在、募集中です。詳しくは、ホームページをご参照下さい。
- <https://ecajti.org/> ・・・ ECAJTI の website
- <https://www.youtube.com/channel/UCj10qX0sHvIb7LwFVxx8DXg>
- ・・・ ECAJTI の YouTube チャンネル